

レクチャーコンサートシリーズ30

伊東信宏 企画・構成 レクチャーコンサート

ピアノはいつ ピアノになったか? 補遺2



「クララ・シューマンとピアノ」

2018年7月29日(日) 入場料/¥3,000 ザ・フェニックスホール / ¥2,700 友の会価格

学生券/¥1,000 (限定数・電話予約可・当ホールのみのお取り扱い)

15:00開演/14:30開場

会場/ あいおいニッセイ同和損保
ザ・フェニックスホール

指定席

一般発売: 2018年1月23日(火)

19世紀を生き抜いた音楽家クララ・シューマン

クララ・シューマンは、ローベルト・シューマンやヨハネス・ブラームスの創作と人生にさまざまな形で関わった人物として広く知られています。しかし、自身すぐれた音楽家であったクララが音楽世界にどのような貢献をしたかについては、案外知られていないのではないのでしょうか。

1819年に生まれ、1896年に没したクララは、神童としてデビューして以来、晩年までステージに立ち続けました。後半生には後進の指導にもあたっています。いわば19世紀を音楽家として生き抜いたのです。この世紀は音楽文化の担い手が貴族から市民に移った時代で、それに伴い音楽実践の場や音楽家のあり方、さらには音楽についての考え方や聴き方などが大きく転換しました。1830年前後に公の場に登場し、世紀末近くまで音楽家として活動した彼女の足跡をその作曲作品も含めて辿っていくと、19世紀が経験した音楽文化の変遷を体現する、それどころか牽引したひとりの音楽家の姿が浮かび上がってくるでしょう。

(玉川裕子/桐朋学園大学准教授)

〈出演〉

講師/玉川裕子(桐朋学園大学准教授)

Yuko Tamagawa (Lecturer)

演奏/宮崎貴子(ピアノ)

Takako Miyazaki (Piano)

〈曲目〉

C・シューマン:ロマンス変奏曲 作品3

Clara Schumann: Romance variée op. 3

即興曲「ウィーンの思い出」作品9

Impromptu "Souvenir de Vienne" op.9

3つのロマンス 作品21

3 Romanzen op.21

R・シューマン:幻想小曲集 作品12より「夕べに」、「飛翔」

Robert Schumann: Phantasiestücke op.12 1.Des Abends 2.Aufschwung

ブラームス:6つの小品 作品118より 第2番「間奏曲」イ長調

Johannes Brahms: 6 Stücke op.118 2. Intermezzo A Dur

ほか(予定)

都合により曲目などが変更になる場合がございます。あらかじめご了承下さい。



■使用楽器

ヨハン バプティスト シュトライヒャー
Johann Baptist Streicher

1846年、ウィーン。85鍵(AAA~a4)。
長さ2,460mm、幅1,370mm。

アングロジャーマンアクション
テンションバー2本

協力:フォルテピアノ ヤマモトコレクション

MS&AD

あいおいニッセイ同和損保

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールをフェニックスタワー内に設置しています。芸術・文化の発信基地として、関西の芸術文化発展に寄与しています。